第4章 Windows2000/NT4.0 編

■この章でおこなうこと

Windows2000/NT4.0 を搭載したパソコンを使って、インターネットに接続するための設定をおこないます。

Windows2000/NT4.0 作業の流れ

パソコンからインターネットに接続する手順は、以下の通りです。

	AirStation を使えるようにします　109 ページ～
Step 1	設定用パソコンに無線 LAN カードを取り付け、ドライバをインストールします。
Step 2	インターネット接続のための仮設定として、設定用パソコンに TCP/IP の設定をします。
Step 3	AirStation の設定をおこなうため、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。
Step 4	AirStation の設定をします。

	無線 LAN を使えるようにします　138 ページ～
Step 5	無線 LAN を使うすべてのパソコンに無線 LAN カードを取り付け、ドライバをインストールします。
Step 6	無線 LAN を使うすべてのパソコンからインターネットに接続するために、TCP/IP の設定をします。
Step 7	無線 LAN を使うすべてのパソコンに AirStation の設定をおこなうため、クライアントマネージャをインストールします。
Step 8	設定用パソコンの設定情報ファイルを利用して、無線 LAN を使うすべてのパソコンに AirStation の設定をします。

	無線 LAN パソコンでインターネットを利用します　153 ページ～
Step 9	AirStation に接続された無線 LAN パソコンから、TA/ モデムを使用してインターネットに接続してみます。
Step 10	インターネットへの接続を切断します。

	有線 LAN パソコンでインターネットを利用します　157 ページ～
Step 1	有線 LAN を使うすべてのパソコンに LAN ボード／カードを取り付け、ドライバをインストールします。
Step 2	有線 LAN を使うすべてのパソコンからインターネットに接続するために、TCP/IP の設定をします。
Step 3	有線 LAN パソコンから、TA/ モデムを使用してインターネットに接続してみます。
Step 4	インターネットへの接続を切断します。

4.1 AirStation を使えるようにします

ここでは、1 台のパソコンを設定用パソコンとして使い、AirStation に対してさまざまな設定をおこないます。

Step 1 設定用パソコンにLANボード／カードのドライバをインストールする

AirStation を機能させるには、パソコンを使ってさまざまな設定をおこなう必要があります。本書では、このパソコンを《設定用パソコン》と表記しています。

最初のステップでは、《設定用パソコン》に搭載された LAN ボード／カードに、ドライバをインストールします。

《有線 LAN パソコンから設定をおこなう場合》

LAN ボード／カードのドライバをインストールしてください。ドライバのインストール方法については、お使いの LAN ボード／カードのマニュアルを参照してください。ドライバのインストールが完了したら、「Step 2 設定用パソコンにインターネット接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）」（P125）へ進んでください。

メモ **このマニュアルは、新規にインターネット／ LAN 環境を構築することを前提に説明しています。すでに TCP/IP で有線ネットワークを構築している場合は、「Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」（P131）へ進んでください。**

《無線 LAN パソコンから設定をおこなう場合》

AirStation に添付の「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使って、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。ドライバのインストール方法については、「Step 1-1 無線 LAN カードを取り付ける前の確認事項」（P110）～「Step 1-4 Windows2000: インストール後の確認」（P117）を参照してください。

ドライバのインストールが完了したら、「Step 2 設定用パソコンにインターネット接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）」（P125）へ進んでください。

メモ **バスアダプタ（WLI-ISA-OP または WLI-PCI-OP）をお使いの方へ**

無線 LAN カード（WLI-PCM-L11 等）を取り付ける前に、WLI-ISA-OP また WLI-PCI-OP（以後バスアダプタと表記）の取り付けとバスアダプタのドライバをインストールする必要があります。

インストール手順は、バスアダプタに添付のマニュアルを参照してください。

Step 1-1 無線 LAN カードを取り付ける前の確認事項

《設定用パソコン》のドライブ構成を次の手順で確認してください。

Windows2000 を例に説明します。

1 **デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

2

1 選択　**［表示］メニューから［詳細］を選択します。**

2 確認　**表示されるドライブ名を確認します。**

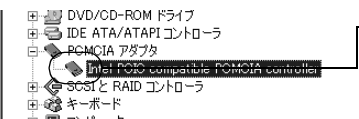
ここで表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

お使いのパソコンのドライブ構成は？

ドライブの種類	アイコン	上記の画面例	お使いのパソコン
3.5 インチフロッピーディスク		A:	
ハードディスク（ローカルディスク）		C:	
CD-ROM		D:	

PC カードドライバの確認

《設定用パソコン》に PC カードドライバが正しくインストールされていることを確認します。

⚠注意
- **無線 LAN カードは、Windows2000 ／ NT4.0 の PC カードドライバが正常に動作しない機種には、対応していません。**
- **WindowsNT4.0 は、活線挿抜、レジューム機能には対応していません。**

Windows2000 の場合：

1 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**

2 **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

3 **［ハードウェア］タブをクリックします。**
［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

4

DVD/CD-ROM ドライブ
IDE ATA/ATAPI コントローラ
PCMCIA アダプタ
Intel PCIC compatible PCMCIA controller
SCSI と RAID コントローラ
キーボード

1 確認

［PCMCIA アダプタ］の下に表示されるアイコンに、"×"または"！"が付いていないことを確認します。

"×"または"！"が付いていなければ、PC カードドライバが正しくインストールされています。次のステップへ進んでください。

メモ
- **画面に表示される PCMCIA コントローラの名称は、パソコンの機種によって異なります。**
- **"×"または"！"が付いているときは、お使いのパソコンのメーカにお問い合わせください。**

⚠注意 **WLI-PCI-OP を Windows2000 でお使いになる場合**

WLI-PCI-OP のドライバは、標準で組み込まれる「Ricoh R/RL/RT/RC/5C475(II), R5C520 or Compatible CardBus Controller」ではなく「BUFFALO WLI-PCI-OP PCI Bridge」を使用する必要があります。WLI-PCI-OP のドライバをインストールするときは、添付 CD-ROM「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」のヘルプを参照して、おこなってください。

添付 AIRCONNECT シリーズドライバ CD のヘルプ表示方法

1 **添付 AIRCONNECT シリーズドライバ CD を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
簡単導入ウィザードが自動的に起動されます。
ウィザードが自動的に起動しない場合は、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択し、「D:¥wleasy.exe」と入力して（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）［OK］をクリックします。
2 **ヘルプメニューの「無線 LAN ドライバのインストール手順」を選択し、［次へ］をクリックします。**
3 **お使いの WEB ブラウザのパスが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。**
WEB ブラウザが起動され、無線 LAN ドライバのインストール方法についてのヘルプが表示されます。
4 **［PCI アダプタ（WLI-PCI-OP）］をクリックします。**
5 **PCI アダプタの設定方法が表示されたら、［Windows2000 の場合］をクリックします。**
6 **該当する設定手順が表示されますので、その内容に従ってドライバをインストールします。**

Windows NT4.0 の場合：

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［デバイス］アイコンを、ダブルクリックします。

3 ［Pcmcia］の「状態」が「開始」になっていることを確認します。

「開始」になっていれば、PC カードドライバが正しくインストールされています。次のステップへ進んでください。

Step 1 -2 無線 LAN カードの取り付け

⚠注意 **パワーマネジメント（未使用状態が一定時間続くとパソコンの電源供給を停止する）機能がついているパソコンの場合は、パワーマネジメント機能の設定を OFF にしてください。パワーマネジメント機能が働くと、無線 LAN カードが使用できなくなることがあります。パワーマネージメント機能については、パソコン本体のマニュアルを参照してください。**

⚠注意 **取り付け時の注意**

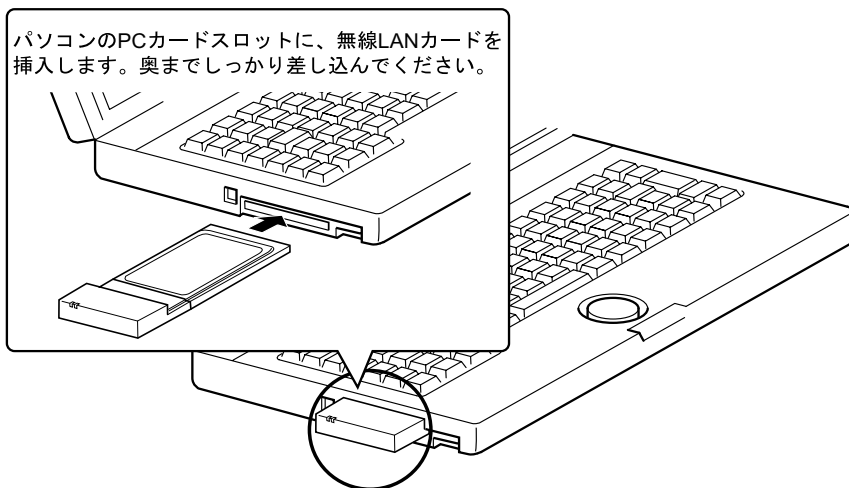
- パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、それぞれ付属のマニュアルに記載されている方法でおこなってください。
- 各種コネクタのチリ、ホコリなどは取り除いてください。
- 無線 LAN カードのコネクタ部分には手を触れないでください。
- 無線 LAN カードをパソコンに取り付けるときコネクタの向きに注意してください。無理に押し込むとコネクタが破損する恐れがあります。

⚠注意 **取り外し時の注意**

- 無線 LAN カードは、Windows2000 の場合は、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しが行える「活線挿抜」に対応しています。ただし、無線 LAN カードを取り外すときは、Windows2000 上で取り外しができる状態にする必要があります。詳しくは、「ノートパソコン／デスクトップパソコンからの取り外し」を参照してください。
- 無線 LAN カードは、WindowsNT4.0 の場合は、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しができる「活線挿抜」に対応していません。WindowsNT4.0 で無線 LAN カードを取り外すときは、パソコンの電源を OFF にしてください。

ノートパソコンへの取り付け

無線 LAN カードをノートパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

メモ
- **Windows2000 は、「活線挿抜」に対応しているため、パソコンの電源が ON の状態のままで、無線 LAN カードを取り付けることができます。**
- **WindowsNT4.0 は、「活線挿抜」に対応していないため、パソコンの電源が OFF の状態で無線 LAN カードを取り付けます。**

注意 **PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いの方へ**

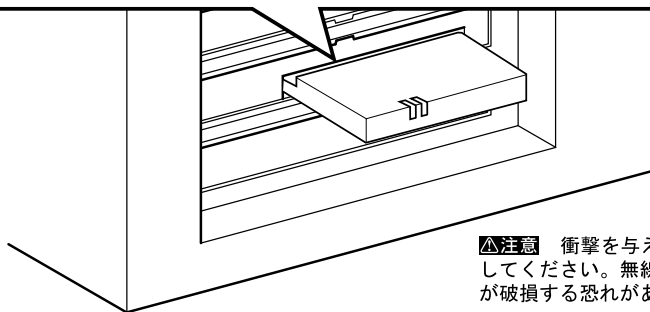
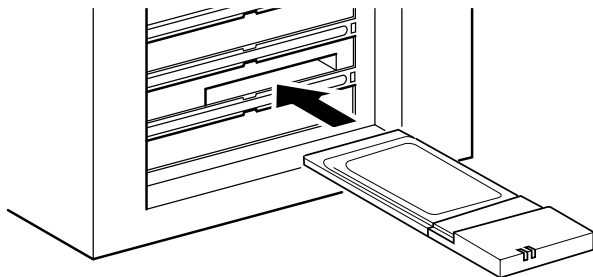
無線 LAN カードは、アンテナ内蔵部分が突き出ています。
そのため、PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンで、下側の PC カードスロットに無線 LAN カードを装着すると、上側の PC カードスロットに他の PC カードが装着できなくなることがあります。
そのときは、無線 LAN カードを上側の PC カードスロットに装着してください。

デスクトップパソコンへの取り付け

無線 LAN カードを PC カードスロットのないデスクトップパソコンに取り付けるときは、以下のいずれかのボードをあらかじめ、デスクトップパソコンに取り付けておく必要があります。

・ISA バスアダプタ（WLI-ISA-OP）　・PCI バスアダプタ（WLI-PCI-OP）

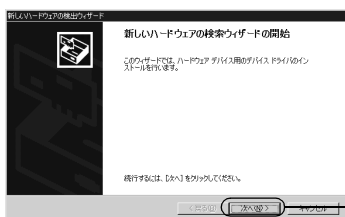
▶参照　**取り付け方法は、各製品付属のマニュアルを参照してください。**

無線 LAN カードをデスクトップパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

Step 1-3 Windows2000：無線 LAN カードのドライバをインストールする

WindowsNT4.0 の場合は、「Step 1-3　WindowsNT4.0: 無線 LAN カードのドライバをインストールする」（P119）へ進んでください。

⚠注意　**パソコンに無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。**

1　**Windows2000 を起動します。**
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

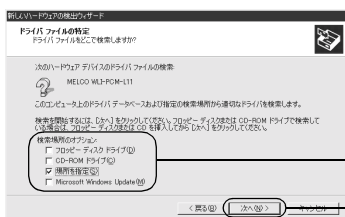
2　**無線 LAN カードが認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。**

1 クリック　**［次へ］ボタンをクリックします。**

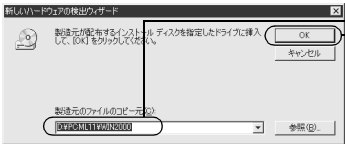
3

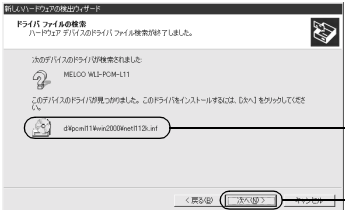
1 選択　**無線 LAN カードが「MELCO WLI-PCM-L11」として認識されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。**

2 クリック　**［次へ］ボタンをクリックします。**

4

1 選択　**「検索場所のオプション」を以下のように選択します。**

フロッピーディスクドライブ：
チェックしません
CD-ROM ドライブ：
チェックしません
場所を指定：
チェックします

2 クリック　**［次へ］ボタンをクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

5 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

6

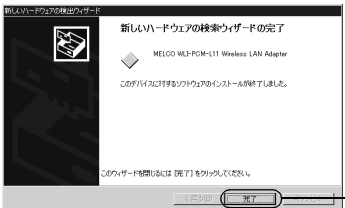
1 入力 「製造元のファイルのコピー元」に、(CD-ROM ドライブが D の場合)「D:¥PCML11¥WIN2000」と入力します。

2 クリック [OK] をクリックします。

7

1 確認 「d:¥pcml11¥win2000¥netl112k.inf」と表示されていることを確認します。

2 クリック [次へ] をクリックします。

8

1 クリック 「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」と表示されたら、[はい] をクリックします。

「Windows で正しく動作することは保証されません。」と表示されますが、動作確認は弊社でおこなっております。
そのまま、[はい] をクリックして、インストールを続行してください。

9

1 クリック [完了] をクリックします。

これで、ドライバのインストールは完了です。
続いて、次のステップへ進み、無線LANカードが正常に動作していることを確認します。

Step 1 -4 Windows2000: インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、以下の手順に従って、無線 LAN カードが正常にインストールされていることを確認します。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックします。

3

1 クリック ［ハードウェア］タブをクリックします。

2 クリック ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

4

1 確認 ［ネットワークアダプタ］の下に、「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」と表示されていることを確認します。

無線 LAN カードは正常に動作しています。

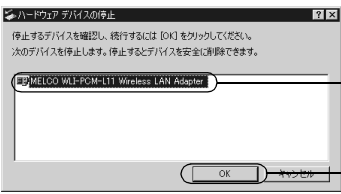
次は、「Step 2 設定用パソコンにインターネット接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）」（P125）へ進みます。

メモ ノートパソコン／デスクトップパソコンからの取り外し

Windows2000 の動作中に無線 LAN カードを取り外すときは、以下の手順に従ってください。

- **クライアントマネージャが起動している場合、無線LANカードの取り外しはできません。無線 LAN カードを取り外す場合は、クライアントマネージャを終了してからおこなってください。**

⇒ 次ページへ続く

1 **タスクトレイにある「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンを、ダブルクリックします。**

2

「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択します。

［停止］ボタンをクリックします。

3

「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」が表示されていることを確認します。

［OK］をクリックします。

4 **「'MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter' は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されます。**

［OK］をクリックします。

5 **無線 LAN カードを取り外します。**

メモ　インストールしたドライバを削除する

無線 LAN カードのドライバを削除する場合は、以下の手順をおこないます。

1 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**
2 **［システム］アイコンをダブルクリックします。**
3 **［ハードウェア］タブをクリックします。**
4 **［デバイスマネージャ］をクリックします。**
5 **［ネットワークアダプタ］アイコンをダブルクリックします。**
6 **「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を右クリックして、［削除］を選択します。**
7 **「デバイス削除の確認」が表示されたら、［OK］をクリックします。**
次に、¥WINNT¥INF フォルダにコピーされた INF ファイルと PNF ファイルを削除します。
8 **［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］を選択して、エクスプローラを起動します。**
9 **［ツール］－［フォルダオプション］を選択します。**

⇒ 次ページへ続く

10［表示］タブをクリックします。
11［すべてのファイルとフォルダを表示する］を選択して、［OK］をクリックします。
12 Windows2000 がインストールされたドライブの中の、WINNT¥INF フォルダの中にある OEM?.INF ファイル（OEM0.INF、OEM1.INF など「?」には数字が入ります）をダブルクリックして開き、「WLI-PCM-L11」という文字が入っているファイルを探します。
13「WLI-PCM-L11」という文字が OEM?.INF ファイルに入っていたら、このファイルと OEM?.PNF（「?」は同じ数字）が無線 LAN カードのドライバです。OEM?.INF ファイルと OEM?.PNF ファイルを削除してください。

Step 1 -3 WindowsNT4.0: 無線LANカードのドライバをインストールする

無線LANカードのドライバのインストール手順は､パソコンの環境によって異なります。以下のうち、あてはまるケースに従って、作業を進めてください。

WindowsNT4.0 がセットアップ済みの場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいるときは、お使いのパソコンに初めてドライバをインストールするかどうかでドライバのインストール方法が異なります。

- お使いのパソコンに、初めてドライバをインストールするときは、
  「初めてドライバをインストールする場合」（P120）へ進みます。
- お使いのパソコンに、一度でもドライバをインストールしたことがあるときは、（弊社または、他社の LAN カードを使用したことがあるパソコンの場合）
  「一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合」（P122）へ進みます。

WindowsNT4.0 をこれからセットアップするとき

WindowsNT4.0 をセットアップする途中でドライバも一緒にインストールするときは、以下の項目を参照してください。セットアップの手順については、WindowsNT に付属のマニュアルを参照してください。

- ドライバの選択
  ドライバ名称は､「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を指定してください。

メモ **ドライバの指定方法は、「初めてドライバをインストールする場合」（P120）の手順 6 から 11 を参照してください。**

- 本製品の設定
  現在の本製品の設定（IRQ、I/O ポートアドレス）の内容を確認して、［OK］をクリックしてください。

⚠注意 **パソコンに無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。**

4
Windows2000/NT4.0編

■ 初めてドライバをインストールする場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいて、初めてドライバをインストールする場合は、次の手順に従ってください。

1 **WindowsNT4.0 を起動します。**
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

2 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**

3 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

4 **「WindowsNT ネットワークがインストールされていません」と表示されたら、［はい］をクリックします。**

この画面が表示されないときは、「一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合」の手順 **4** へ進んでください。

5 **「ネットワークに接続」を選択します。**
［次へ］をクリックします。

6 **［一覧から選択］をクリックします。**

7 **［ディスク使用］をクリックします。**

8 **「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。**

9 **（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥PCML11¥WINNT」と入力します。**
［OK］をクリックします。

10 **「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」が表示されていることを確認します。**
［OK］をクリックします。

11 **「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」にチェックしてあることを確認します。**
［次へ］をクリックします。

12 **ネットワークで使用する「ネットワークプロトコル」を選択します。**
［次へ］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

13 「次の一覧には、システムによってインストールされるサービスが示されています」と表示されたら、［次へ］をクリックします。

14 ［次へ］をクリックします。

15 「いくつかの WindowsNT ファイルをコピーする必要があります。」と表示されたら、「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。WindowsNT の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

16 （CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥I386」を入力します。［続行］をクリックします。

PC-9821 シリーズの場合は、（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥PC98」と入力します。

17 「WLI-PCM-L11 の設定」画面が表示されたら、以下の設定になっていることを確認します。
無線チャンネル：
　　「14」に設定します。
アクセスポイント経由通信：
　　チェックを消した状態にします。
WLI-PCI-L11 モード：
　　WLI-PCM-L11 を WLI-PCI-OP に取り付ける場合は、チェックをつけます。
[OK] をクリックします。

⚠注意
- その他の設定は、変更しないでください。
- 「この IRQ（I/O ポートアドレス）の競合を検出しました。別の IRQ（I/O ベースアドレス）を選択してください。」と表示された場合は、以下の手順をおこなって、重複しない値に変更してください。

IRQ、I/O ポートアドレスの変更
1 WindowsNT4.0 を起動します。
  アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。
2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
4 ［アダプタ］タブをクリックします。
  「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択します。
  ［プロパティ］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

5 「アダプタ」タブをクリックします。
現在の本製品の設定（IRQ、I/O ポートアドレス）が表示されます。
必要に応じて各リソースの値を変更します。
［OK］をクリックします。

⚠注意 IRQ、I/O ポートアドレスの設定以外は変更しないでください。

6 パソコンを再起動します。
パソコンを再起動すると、変更した設定が有効になります。

これで、ドライバのインストールは完了です。

続いて、「Step 1-4　WindowsNT4.0: インストール後の確認」（P124）へ進み、無線 LAN カードが正常に動作していることを確認します。

■ 一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいて、一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合は、次の手順に従ってください。

1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

4 ［アダプタ］タブをクリックします。
［追加］をクリックします。

5 ［ディスク使用］をクリックします。

6 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

7 （CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥PCML11¥WINNT」と入力します。
［OK］をクリックします。

8 「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」が表示されていることを確認します。
［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

9 「WLI-PCM-L11 の設定」画面が表示されたら、以下の設定になっていることを確認します。

無線チャンネル：「14」に設定します。
アクセスポイント経由通信：チェックを消した状態にします。
WLI-PCI-L11 モード：WLI-PCM-L11 を WLI-PCI-OP に取り付ける場合は、チェックをつけます。

［OK］をクリックします。

⚠注意
- その他の設定は、変更しないでください。
- 「この IRQ（I/O ポートアドレス）の競合を検出しました。別の IRQ（I/O ポートアドレス）を選択してください。」と表示された場合は、以下の手順をおこなって、重複しない値に変更してください。

IRQ、I/O ポートアドレスの変更
1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。
2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
4 ［アダプタ］タブをクリックします。
「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択します。
［プロパティ］をクリックします。
5 「アダプタ」タブをクリックします。
現在の本製品の設定（IRQ、I/O ポートアドレス）が表示されます。
必要に応じて各リソースの値を変更します。
［OK］をクリックします。
⚠注意 IRQ、I/O ポートアドレスの設定以外は変更しないでください。
6 パソコンを再起動します。
パソコンを再起動すると、変更した設定が有効になります。

10 「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」が追加されたことを確認します。
［閉じる］をクリックします。

これで、ドライバのインストールは完了です。
続いて、次のステップへ進み、無線LANカードが正常に動作していることを確認します。

Step 1 -4 WindowsNT4.0: インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、WindowsNT 標準の WindowsNT 診断プログラムを使って、無線 LAN カードが正常にインストールされていることを確認します。

1 **［スタート］－［プログラム］－［管理ツール］－［WindowsNT 診断プログラム］を選択します。**

2 **［リソース］タブをクリックします。**

3 **［デバイス］をクリックします。**

4 **［デバイスの一覧］から［Wlil11］を選択します。**
［プロパティ］をクリックします。

5 **「I/O 範囲」、「割り込み要求」が表示されていることを確認します。**
[OK] をクリックします。

無線 LAN カードは正常にインストールされています。

メモ **値が表示されないときやデバイスの一覧に［Wlil11］が表示されない場合は、リソースの設定を変更してください。また、無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。**

メモ **インストールしたドライバを削除する**
無線 LAN カードのドライバを削除する場合は、以下の手順をおこないます。
1 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**
2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**
3 **［アダプタ］タブをクリックします。**
4 **「MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN Adapter」を選択し、［削除］をクリックします。**
5 **「この操作はコンポーネントをシステムから削除します」と表示されたら、［はい］をクリックします。**
6 **［閉じる］をクリックします。**
7 **「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。**

メモ **WindowsNT4.0 の動作中に無線 LAN カードを取り外さないでください。必ず電源が OFF の状態で取り外します。**

Step 2 設定用パソコンにインターネット接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）

AirStation の設定をおこなうために、《設定用パソコン》に仮の IP アドレスを設定します。

メモ IP アドレスは、AirStation の設定が完了した後、AirStation から自動的に割り当てられる設定に変更します。
詳細は、「Step 6 無線 LAN を使うパソコンにインターネット接続のための設定をする（TCP/IP の設定）」（P139）を参照します。

注意 IP アドレスの設定方法は、Windows2000 と WindowsNT4.0 では異なりますので、ご注意ください。

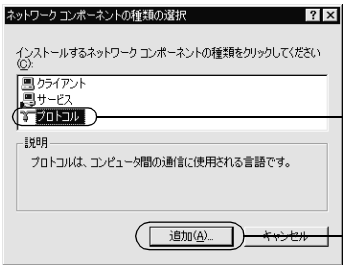
■ Windows2000：IP アドレスの設定

1 **パソコンを起動します。**
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

2 **［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。**

3 **［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリックします。**

4

1 クリック **［プロパティ］をクリックします。**

5

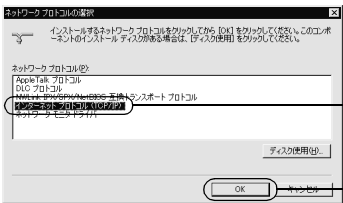
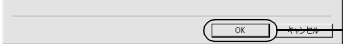
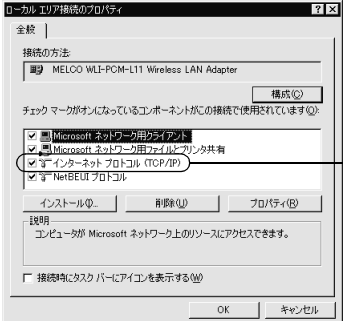
1 確認 **「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されていることを確認します。**

⇒ 次ページへ続く

⚠注意 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されないときは、次の手順をおこなって、インターネットプロトコル（TCP/IP）を追加してください。

1

[インストール] をクリックします。

2

[プロトコル] を選択します。

[追加] をクリックします。

3

1 選択 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。

2 クリック [OK] をクリックします。

4

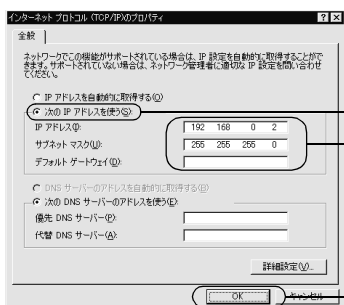
1 確認 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されていることを確認します。

⇒ 次ページへ続く

6

1 選択 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択します。

2 クリック ［プロパティ］をクリックします。

7

1 選択 「次の IP アドレスを使う」を選択します。

2 入力 以下の値を入力します。

IP アドレス：192.168.0.2
サブネットマスク：255.255.255.0

3 クリック ［OK］をクリックします。

すでに TCP/IP プロトコルで LAN を構築しているときは、同じネットワークの IP アドレスを入力してください。IP アドレスの設定方法については、「第 5 章　困ったときは」の「IP アドレスの割り振り方がわからない」(P173)を参照してください。

メモ **現在、TCP/IP プロトコルで LAN が構築されているかどうかは、以下の手順で確認できます。**

1 **［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。**
2 **画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力して、<ENTER> キーを押します。**
3 **「IP Address」欄が次のように表示されているときは、TCP/IP プロトコルで LAN は構築されていません。**
   - **「0.0.0.0」と表示されている。**
   - **「169.254.X.X」と表示されている。（X は 0 ～ 255 までの数字です）**

⇒ 次ページへ続く

8

［OK］をクリックします。

9

［閉じる］をクリックします。

これで、Windows2000 での IP アドレスの設定は完了です。

次は、「Step 3　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」（P131）へ進みます。

■　WindowsNT4.0：IP アドレスの設定

1　**パソコンを起動します。**
アドミニストレータ権限を持つログイン名（Administrator 等）でログインします。

2　**［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**

3　**［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

4

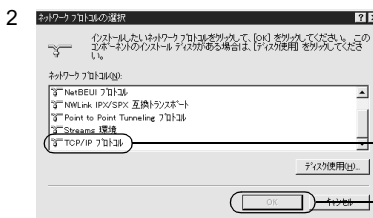
[プロトコル] タブをクリックします。

[ネットワークプロトコル] 欄に、「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。

⚠注意 **「TCP/IP プロトコル」が表示されないときは、次の手順をおこなって、TCP/IP プロトコルを追加してください。**

1

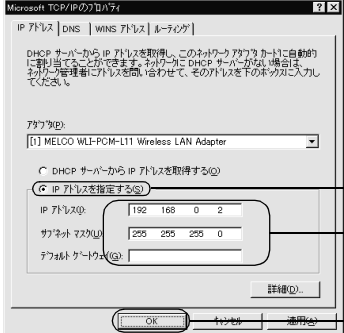
1 クリック **[追加] をクリックします。**

2

1 選択 **「TCP/IP プロトコル」を選択します。**

2 クリック **[OK] をクリックします。**

3

1 確認 **「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。**

⇒ 次ページへ続く

5

1 選択　「TCP/IP プロトコル」を選択します。

2 クリック　［プロパティ］をクリックします。

6

1 選択　「IP アドレスを指定する」を選択します。

2 入力　以下の値を入力します。

IP アドレス：192.168.0.2 サブネットマスク：255.255.255.0

3 クリック　［OK］をクリックします。

すでに TCP/IP プロトコルで LAN を構築しているときは、同じネットワークの IP アドレスを入力してください。IP アドレスの設定方法については、「第 5 章　困ったときは」の「IP アドレスの割り振り方がわからない」（P173）を参照してください。

メモ　**現在、TCP/IP プロトコルで LAN が構築されているかどうかは、以下の手順で確認できます。**

1 **［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。**

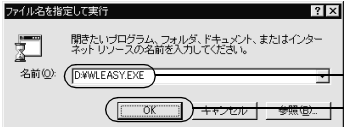
2 **画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力して、<ENTER> キーを押します。**

3 **「IP Address」欄が次のように表示されているときは、TCP/IP プロトコルで LAN は構築されていません。**

- **「0.0.0.0」と表示されている。**

WindowsNT4.0 が再起動されます。

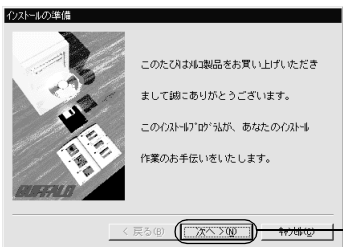
これで、WindowsNT4.0 での IP アドレスの設定は完了です。

Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする

AirStation を管理するためのエアステーションマネージャを《設定用パソコン》にインストールします。

メモ **この手順は、《設定用パソコン》（AirStation を設定するパソコン）にのみおこなってください。すべてのパソコンにインストールする必要はありません。**

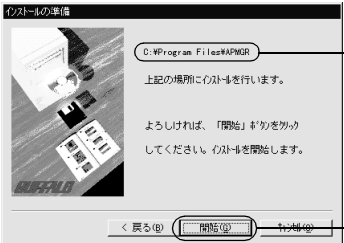
1 **「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。**

2 **［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。**

3 **（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥WLEASY.EXE」と入力します。**
［OK］をクリックします。

4 **「エアステーションマネージャのインストール」を選択します。**
［次へ］をクリックします。

5 **［次へ］をクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

6

エアステーションマネージャのインストール先を確認します。

［次へ］をクリックします。

インストール先を変更したいときは、新しいインストール先を入力してから、［次へ］をクリックします。

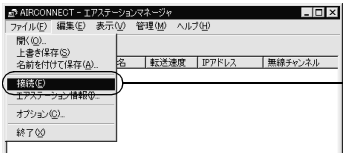
7

表示されたインストール先を確認します。

［開始］をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。

8

［OK］をクリックします。

これで、エアステーションマネージャのインストールは完了です。

メモ **エアステーションマネージャをアンインストールするときは、［スタート］－［プログラム］－［MELCO AirStation］－［エアステーションマネージャアンインストール］を選択します。以降は画面の指示に従ってください。**

Step 4 AirStation にインターネット接続のための設定をする

AirStation の IP アドレスを設定し、TA/ モデムを使用してインターネットに接続するための設定をおこないます。

- インターネットに接続するための設定画面を表示するには、WEB ブラウザが必要です。あらかじめ、インストールしておいてください。
  Windows2000 の場合は、WEB ブラウザが標準でインストールされています。
- AirStation の設定を無線 LAN パソコンからおこなう場合は､必ず弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンから設定をおこなってください。

1 **［スタート］－［プログラム］－［MELCO AirStation］－［エアステーションマネージャ］を選択します。**

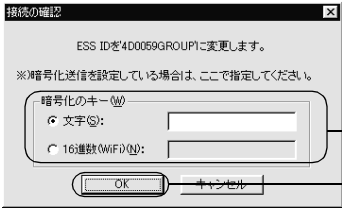
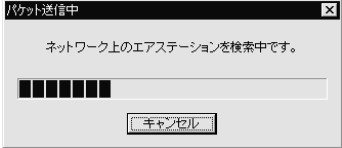
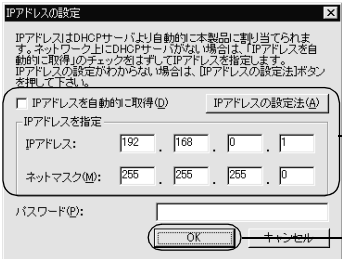
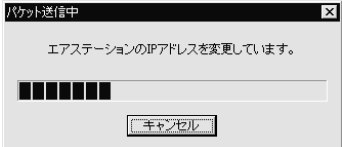
2

［ファイル］－［接続］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、［編集］－［エアステーション検索］をおこなった後、手順 5 へ進みます。

3

以下の値を入力します。

MAC アドレス：
　AirStation の MAC アドレス下 6 桁の値を入力します。
グループ名：
　「GROUP」を入力します。（出荷時設定）

［OK］をクリックします。

MAC アドレスは AirStation 本体に貼り付けられているシールに記載されている 12 桁の値です。

MAC アドレスの上 6 桁は “ 004026 ” で固定ですので、ここでは下 6 桁の値を入力します。

AirStation の MAC アドレスについては、「各部の名称とはたらき」（P7）を参照してください。

⇒ 次ページへ続く

4

1 確認 **「暗号化のキー」欄は空欄のまま（出荷時設定）にします。**

2 クリック **［OK］をクリックします。**

5

AirStation の検索が開始されます。

6

1 選択 **検索された AirStation を選択します。**

2 選択 **［管理］－［IP アドレス設定］を選択します。**

「エアステーションが見つかりません」と表示されたときは、「第 5 章　困ったときは」の「エアステーションマネージャで検索をしても AirStation が見つかりません」（P163）を参照してください。

7

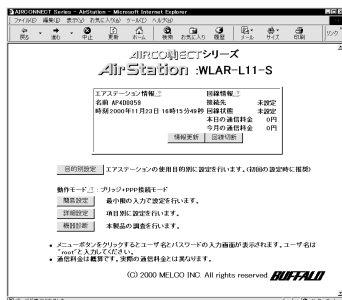
1 入力 **以下の設定をします。**
IP アドレスを自動的に取得：チェックしません
IP アドレス：　192.168.0 .1
ネットマスク：255.255.255.0
パスワード：　空欄

2 クリック **［OK］をクリックします。**

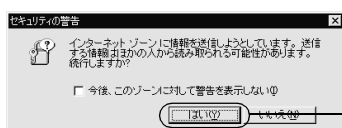
- 出荷時設定（ブリッジ＋ PPP モード）では、IP アドレスを自動的に取得することができません。
- すでに TCP/IP プロトコルで LAN が構築されているときは、同一のネットワークアドレスの IP アドレスを設定してください。わからないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

8

AirStation の IP アドレスが変更されます。

⇒ 次ページへ続く

9 **WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。**

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P164）を参照して、WEB ブラウザの設定を確認してください。

10 **［目的別設定］をクリックします。**

11 **この画面が表示されたら、［はい］をクリックします。**

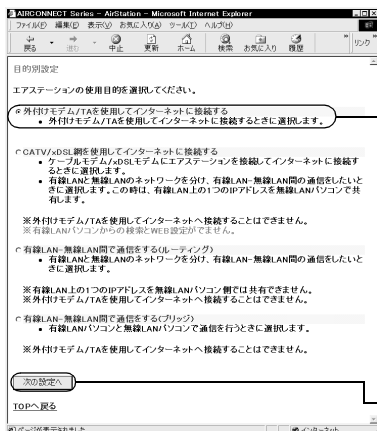
Netscape Navigator をお使いの場合は､「そちらから送信される情報は保護されません。」というメッセージが表示されます。

［OK］をクリックして続行します。

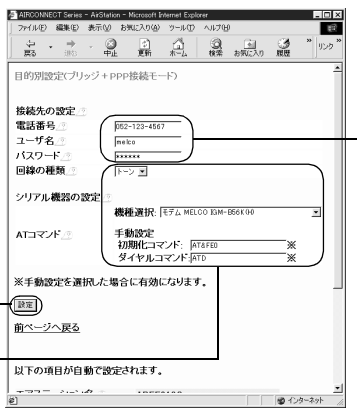
12 **ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。**
以下のとおり入力します。
ユーザー名：「root」を入力します。
パスワード：空欄 のままにします。

［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

13

インターネット接続の他に、有線 LAN －無線 LAN 間で通信するときも「外付けモデム /TA を使用してインターネットに接続する」を選択します。

⇒ 次ページへ続く

14

1 入力　以下の項目を入力して、接続先の設定をします。

電話番号：　接続するプロバイダのアクセスポイントの電話番号
（プロバイダの問い合わせ先の電話番号は入力しないでください）
ユーザ名：　プロバイダの契約書に記載されているユーザ名
（ユーザ名には、大文字・小文字の区別があります）
パスワード：プロバイダの契約書に記載されているパスワード
（パスワードには、大文字・小文字の区別があります。入力したパスワードは、画面には「＊」で表示されます）

2 選択　以下の項目を選択して、シリアル機器（モデム /TA）の設定をします。

回線の種類：
ご使用の電話回線に応じて選択します。
プッシュ回線のときは「トーン」、ダイヤル回線のときは「パルス」
（ご使用の電話機からダイヤルしたとき、受話器から聞こえる音が「ピッポッパッ」の場合は、プッシュ回線です。「カチカチカチッ」をダイヤルを回す音の場合は、ダイヤル回線です）

機種選択：
AirStation **に接続したモデム** /TA **を一覧から選択します。**
モデム /TA **が一覧にない場合は「手動選択」を選択して、お使いの** TA/ **モデムの「初期化コマンド」と「ダイヤルコマンド」（初期値：**ATD**）を入力します。**

メモ
- TA **を選択した場合は、「回線の種類」で選択した内容は無効になります。**
- **「初期化コマンド」「ダイヤルコマンド」は、お使いの** TA/ **モデムによって異なります。**TA/ **モデムのマニュアルを参照するか、またはメーカにお問い合わせください。**

3 クリック　［設定］ボタンをクリックします。

15　「設定を完了しました」と表示されます。
WEB **ブラウザを閉じます。**

これで、TA/ モデムを使用して AirStation でインターネットに接続するための設定は完了です。

《設定用パソコン》による設定は、すべて終了です。

4
Windows2000/NT4.0編

4.2 無線 LAN を使えるようにします

≪設定用パソコン≫を含めたインターネットに接続するすべての無線LANパソコンに、以下の設定をおこなってください。

なお、AirStation に接続して無線 LAN として使うための設定情報を、≪設定用パソコン≫で作成することができます。この情報を他のパソコンにコピーすると、簡単に無線 LAN パソコンは AirStation に接続することができます。この手順については「Step 8 無線 LAN を使うパソコンから AirStation へ接続する」（P149）で説明しています。

Step 5 無線 LAN を使うパソコンに無線 LAN カードのドライバをインストールする

AirStation に添付の「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使用して、《設定用パソコン》以外のパソコンにも無線 LAN カードのドライバをインストールします。

「4.1 AirStation を使えるようにします」の「Step 1 設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」（P109）を参照して、無線 LAN カードをインストールしてください。

すでに無線 LAN カードのドライバがインストールされている場合は「Step 6 無線 LANを使うパソコンにインターネット接続のための設定をする（TCP/IPの設定）」（P139）へ進んでください。

メモ **バスアダプタ（WLI-ISA-OP または WLI-PCI-OP）をお使いの方へ**
無線 LAN カード（WLI-PCM-L11 等）を取り付ける前に、WLI-ISA-OP または WLI-PCI-OP（以後バスアダプタと表記）の取り付けとバスアダプタのドライバをインストールする必要があります。
インストール手順は、バスアダプタに添付のマニュアルを参照してください。

Step 6 無線LANを使うパソコンにインターネット接続のための設定をする（TCP/IP の設定）

⚠注意 ネットワークの設定手順は、Windows2000 と WindowsNT4.0 では異なりますので、ご注意ください。

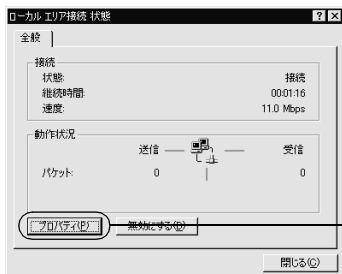
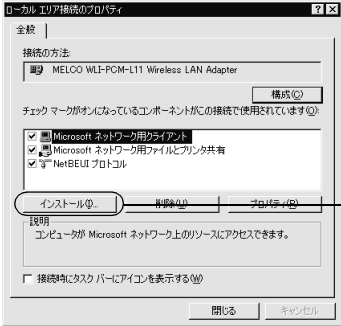
■ Windows2000：TCP/IP の設定

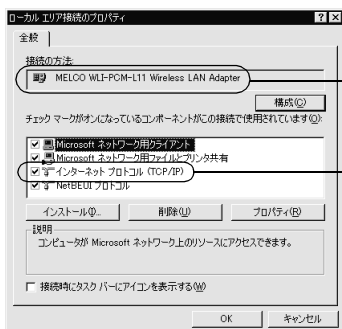
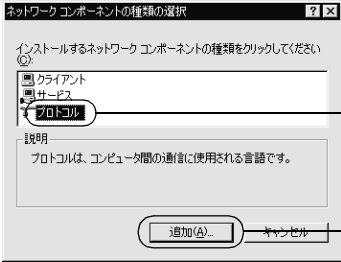
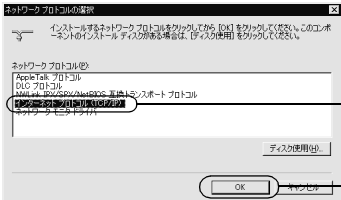
1 Windows2000 を起動します。
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

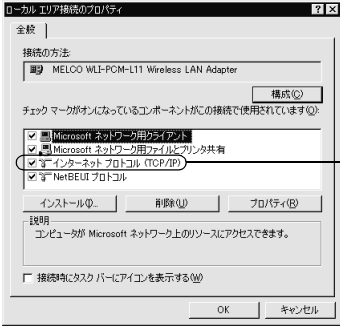
2 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

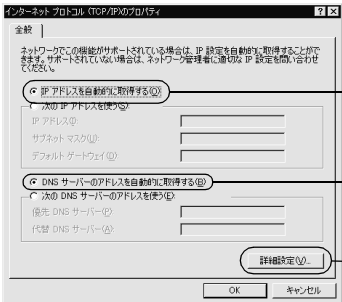
3 「ローカルエリア接続」アイコンをダブルクリックします。

4

［プロパティ］をクリックします。

5

1 確認 無線LANカードのドライバが表示されていることを確認します。

2 確認 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されていることを確認します。

⇒ 次ページへ続く

⚠注意　**無線 LAN カードのドライバが表示されないときは、ドライバが正常にインストールされていることを確認してください。**
「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されないときは、次の手順をおこなって、インターネットプロトコル（TCP/IP）を追加してください。

⇒ 次ページへ続く

6

1 選択 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択します。

2 クリック ［プロパティ］をクリックします。

7

1 選択 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

2 選択 「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択します。

3 クリック ［詳細設定］をクリックします。

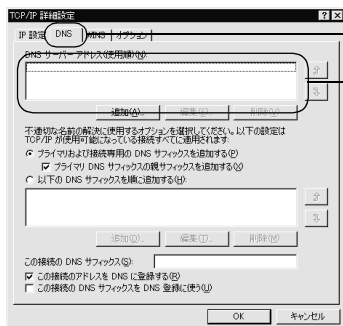
8

1 確認 「IP アドレス」欄に「DHCP 有効」と表示され、「デフォルトゲートウェイ」欄が空白であることを確認します。

「IP アドレス」欄に「DHCP 有効」と表示されないときは、手順 **6** から再度設定してください。

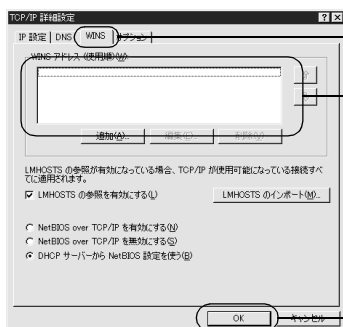
「デフォルトゲートウェイ」欄に IP アドレスが表示されているときは、IP アドレスを選択して、［削除］をクリックしてください。

⇒ 次ページへ続く

9

1 クリック 「DNS」タブをクリックします。

2 確認 「DNS サーバアドレス（使用順）」欄が空白であることを確認します。

「DNS サーバアドレス（使用順）」欄に IP アドレスが表示されているときは、IP アドレスを選択して、［削除］をクリックしてください。

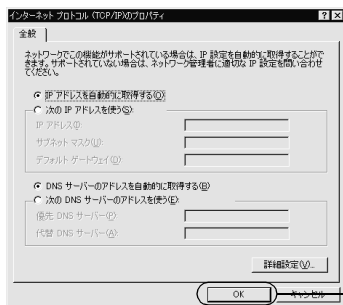
10

1 クリック 「WINS」タブをクリックします。

2 確認 「WINS アドレス（使用順）」欄が空白であることを確認します。

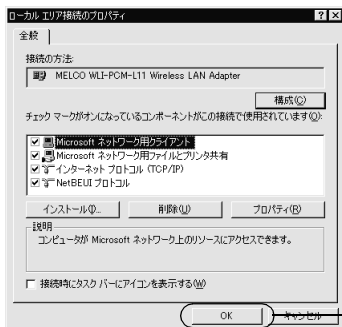
3 クリック ［OK］をクリックします。

「WINS アドレス（使用順）」欄に IP アドレスが表示されているときは、IP アドレスを選択して、［削除］をクリックしてください。

⚠注意 「WINS アドレス（使用順）」欄に IP アドレスが表示されていると、何度も回線を接続して、過剰な課金になりますので注意してください。

11

1 クリック ［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

12

1クリック **［OK］をクリックします。**

13

1クリック **［閉じる］をクリックします。**

これで、無線 LAN で使う Windows2000 パソコンの TCP/IP の設定は完了です。

▶参照 **インターネットに接続するには、パソコンに IP アドレスや DNS、ゲートウェイの設定をする必要がありますが、AirStation ではすべて自動的に割り当てられます。（DNS、ゲートウェイは、AirStation の IP アドレスが割り当てられます）**
正しく割り当てられているかを確認するには、IPCONFIG コマンドをお使いください。IPCONFIG コマンドの使い方は、「Windows2000 の場合 : 無線 LAN パソコン／有線 LAN パソコンでの IP アドレス確認手順」（P198）を参照してください。

■ WindowsNT4.0：TCP/IP の設定

1 **WindowsNT4.0 を起動します。**
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

2 **［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。**

3 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

4

1 クリック ［アダプタ］タブをクリックします。

2 確認 ［ネットワークアダプタ］欄に、無線 LAN カードのドライバが表示されていることを確認します。

⚠注意 **無線 LAN カードドライバが表示されていないときは、**
「Step 1 -3 WindowsNT4.0: 無線 LAN カードのドライバをインストールする」（P119）を参照して、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。

5

1 クリック ［プロトコル］タブをクリックします。

2 確認 ［ネットワークプロトコル］欄に、「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。

⚠注意 **「TCP/IP プロトコル」が表示されないときは、次の手順をおこなって、TCP/IP プロトコルを追加してください。**

1

1 クリック ［追加］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

2

「TCP/IP プロトコル」を選択します。

[OK] をクリックします。

3

「TCP/IP プロトコル」が追加されていることを確認します。

6

「TCP/IP プロトコル」を選択します。

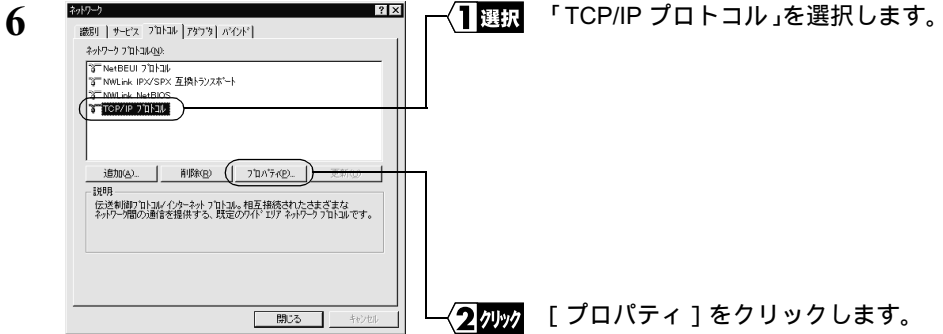
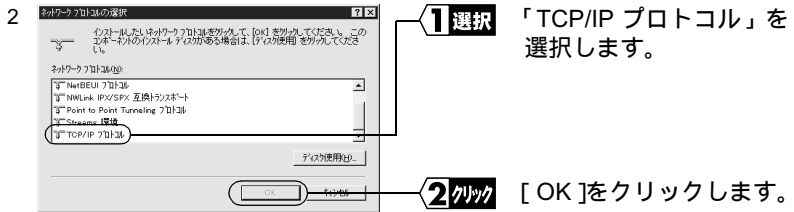
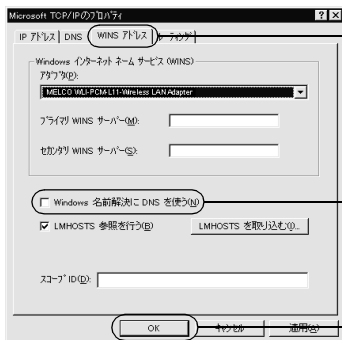
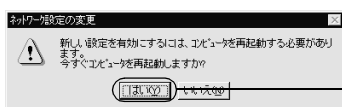
［プロパティ］をクリックします。

7

「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択します。

⇒ 次ページへ続く

4

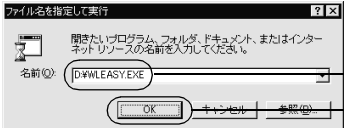
Windows2000/NT4.0編

⚠注意 **ホスト名以外の項目は何も入力しないでください。もし、入力されている場合は削除してください。**

⚠注意 **「Windows 名前解決に DNS を使う」がチェックされていると、何度も回線を接続して過剰な課金になりますので、チェックしないでください。**

WindowsNT4.0 が再起動されます。

これで、無線 LAN で使う WindowsNT4.0 パソコンの TCP/IP の設定は完了です。

▶参照 **インターネットに接続するには、パソコンに IP アドレスや DNS、ゲートウェイの設定をする必要がありますが、AirStation ではすべて自動的に割り当てられます。（DNS、ゲートウェイは、AirStation の IP アドレスが割り当てられます）**
正しく割り当てられているかを確認するには、IPCONFIG コマンドをお使いください。IPCONFIG コマンドの使い方は、「WindowsNT4.0 の場合：無線 LAN パソコン／有線 LAN パソコンでの IP アドレス確認手順」（P198）を参照してください。

Step 7 無線LANを使うパソコンにクライアントマネージャをインストールする

「クライアントマネージャ」は、無線 LAN パソコンと AirStation を接続するためのツールです。AirStation を使用してインターネットに接続するすべての無線LAN パソコンに、クライアントマネージャをインストールする必要があります。

以下の手順で、クライアントマネージャをインストールしてください。

⚠注意 **すでに「WLI-PCM-L11 Driver Disk」から「クライアントマネージャ」をインストールした方も、以下の手順で再度インストールしてください。**

メモ **有線 LAN パソコンにはインストールする必要はありません。**

1 **「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。**

2 **［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。**

3

（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥WLEASY.EXE」と入力します。
［OK］をクリックします。

4

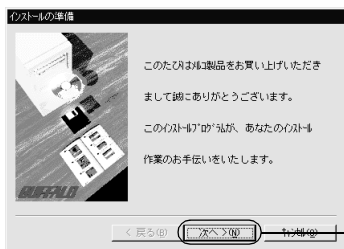
「クライアントマネージャのインストール」を選択します。

［次へ］をクリックします。

5

（他に起動しているアプリケーションがある場合は終了させてから）［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

6

[次へ] をクリックします。

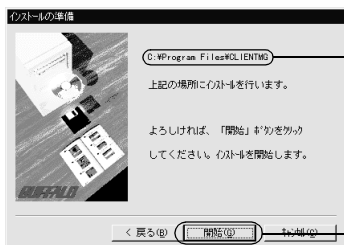
7

1 確認 **インストール先を確認します。**

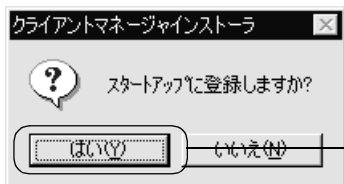
2 クリック **（変更しない場合は）**
[次へ] をクリックします。

（変更する場合は）
インストール先とそのドライブ名を入力してから、[次へ] をクリックします。

8

1 確認 **インストール先を再度確認します。**

2 クリック **[開始] をクリックします。**
インストールに必要なファイルのコピーが始まります。

9

1 クリック **[はい] をクリックします。クライアントマネージャがスタートアップに登録されます。**

スタートアップにクライアントマネージャを登録しない場合は、[いいえ]をクリックしてください。

10

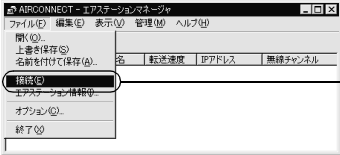
[OK] をクリックします。

これで、クライアントマネージャのインストールは完了です。

メモ **クライアントマネージャをアンインストールするときは、[スタート] − [プログラム] − [MELCO AIRCONNECT] − [クライアントマネージャアンインストール] を選択します。以降は画面の指示に従ってください。**

Step 8 無線 LAN を使うパソコンから AirStation へ接続する

《設定用パソコン》は、すでに AirStation への接続ができるようになっています。

《設定用パソコン》の設定情報（AirStation 情報ファイル）を他の無線 LAN パソコンへコピーして、他の無線 LAN パソコンも AirStation へ接続できるようにします。

メモ **無線 LAN パソコンが 1 台しかなく、無線 LAN パソコンから AirStation の設定をおこなったときは「Step 9 AirStation に接続したパソコンからインターネットに接続する」（P153）へ進んでください。**

Step 8-1 AirStation 情報ファイルの作成

《設定用パソコン》から AirStation 情報ファイルを作成します。

フォーマット済みのフロッピーディスクを用意してください。

1 **フロッピーディスクに「AirStation 情報ファイルディスク」と書いたラベルを貼ってください。**

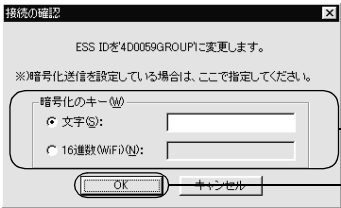
2 **《設定用パソコン》で、[スタート] − [プログラム] − [MELCO AirStation] − [エアステーションマネージャ] を選択します。**

3

[ファイル] − [接続] を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、[編集] − [エアステーション検索] をおこなった後、手順 **6** へ進みます。

⇒ 次ページへ続く

4

以下の値を入力します。
MAC アドレス：
AirStation の MAC アドレス下 6 桁の値を入力します。
グループ名：
「GROUP」を入力します。（出荷時設定）
［OK］をクリックします。

MAC アドレスは AirStation 本体に貼り付けられているシールに記載されている 12 桁の値です。

AirStation の MAC アドレスについては、「各部の名称とはたらき」（P7）を参照してください。

5

「暗号化のキー」が空欄になっていること（出荷時設定）を確認します。
［OK］をクリックします。

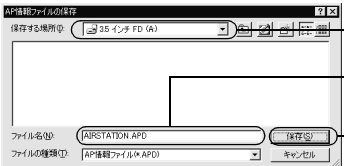
暗号化（WEP）による暗号化の設定をおこなっているときは、「暗号化のキー」に暗号化キーを入力してください。

6

AirStation の検索が開始されます。

7

検索された AirStation は、黒色で表示されます。
無線 LAN で実際に接続している AirStation の前にはアンテナマーク（Y）が表示されます。

8

「ファイル」－「名前を付けて保存」を選択します。

⇒ 次ページへ続く

9 **手順 1 で作成した「AirStation 情報ファイルディスク」をフロッピーディスクドライブへ挿入します。**

10

1 選択 「保存する場所」欄に「3.5 インチ FD (A:)」を選択します。

2 入力 「ファイル名」に「AIRSTATION.APD」などの適当な名前を入力します。

3 クリック ［保存］をクリックします。

これで、AirStation 情報ファイルの作成は完了です。

Step 8 -2 AirStation 接続設定

《設定用パソコン》以外の無線 LAN パソコンに対して、以下の手順で AirStation 情報ファイルをコピーし、AirStation 接続のための設定をします。

1 **《設定用パソコン》以外の無線 LAN パソコンで、［スタート］－［プログラム］－［MELCO AIRCONNECT］－［クライアントマネージャ］を選択します。**

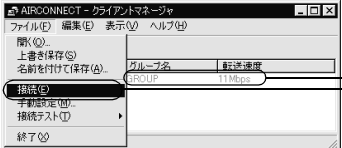
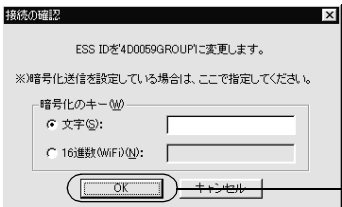
2

1 選択 ［ファイル］－［開く］を選択します。

3 **Step 8 -1 で作成した「AirStation 情報ファイルディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入します。**

4

5

1 選択 「ファイルの場所」欄を「3.5 インチ FD (A:)」に変更した後、情報ファイル（例：AIRSTATION.APD）を選択します。

2 クリック ［開く］をクリックします。

1 確認 AirStation の一覧がグレー表示されます。

⇒ 次ページへ続く

6

（AirStationの一覧がグレー表示されている状態で）AirStationを選択します。

［ファイル］－［接続］を選択します。

7

［OK］をクリックします。

WEPによる暗号化の設定を行っているときは、「暗号化キー」にパスワードを入力してください。出荷時設定のままお使いの場合、暗号化の設定はおこなっていませんので、空欄のままにしてください。

8

AirStationの検索が始まります。

9

このように表示されたら、AirStationへの接続は完了です。

メモ **AirStationへの接続が完了すると、AirStationの表示がグレーから黒に変わり、アンテナマーク（）が表示されます。AirStationが黒で表示されないときは、「第5章　困ったときは」の「クライアントマネージャでAirStationとの接続ができない（検索してもグレー表示される）」（P201）を参照してください。**

メモ **AirStationへの接続後、「転送速度欄」に「2Mbps」など遅い通信速度が表示されることがあります。この場合は、実際に通信をおこなうと正常な通信速度が表示されます。**

4.3 無線 LAN パソコンでインターネットを利用します

インターネットに接続する方法と切断する方法について説明します。

Step 9 AirStation に接続したパソコンからインターネットに接続する

AirStation への接続が完了した無線 LAN パソコンを使って、インターネットに接続してみます。これが無事終了すれば、無線 LAN の完成です。

WEB ブラウザを起動して AirStation のユーザー専用サポートページ " airstation.com " を表示させてみましょう。

ここでは、Internet Explorer 5.0 または Netscape Communicator 4.7 を使用した場合の手順を説明します。

⚠注意 **WEB ブラウザの起動時に特定のホームページを表示するように設定されていると、WEB ブラウザを起動するたびに電話回線が接続され、通信料金が発生します。**

メモ
- **タイムアウトにより、ホームページにアクセスできないというメッセージが表示されることがあります。この場合は、もう一度ホームページにアクセスしてください。**
- **AirStation の SERIAL ランプが点滅しているときは、プロバイダへの接続が途中であることを意味します。**

4

Windows2000/NT4.0編

■ Internet Explorer でアクセスする

1 **AirStation への接続が完了したパソコンで、デスクトップ上の「Internet Explorer」をダブルクリックします。**

⇒ 次ページへ続く

2

［アドレス］欄に「http://www.airstation.com/」と入力します。
<Enter> キーを押します。

同様の手順で他のホームページのアドレスを入力すれば､指定したホームページが表示されます。

▶参照 **ホームページが表示されない場合は､「第 5 章　困ったときは」の「5.2　TA ／モデムを使ったインターネット接続で困ったとき」（P179）を参照してください。**

3 **“ airstation.com ” が表示されます。**

■ Netscape Navigator でアクセスする

Netscape Navigator を起動する前に、パソコンに Netscape Navigator がインストールされていることを確認してください。

1 **AirStation への接続が完了したパソコンで､［スタート］－［プログラム］－［Netscape Communicator］－［Netscape Navigator］を選択します。（Netscape Communicator4.7 をインストールした場合）**

2

［場所］欄に「http://www.airstation.com/」と入力します。
<Enter> キーを押します。

同様の手順で他のホームページのアドレスを入力すれば､指定したホームページが表示されます。

▶参照 **ホームページが表示されない場合は､「第 5 章　困ったときは」の「5.2　TA ／モデムを使ったインターネット接続で困ったとき」（P179）を参照してください。**

3 **“ airstation.com ” が表示されます。**

Step 10 インターネットへの接続を切断する

■ 自動的に切断する

インターネットへ接続中は、無通信時間が 150 秒間（出荷時設定）続くと、自動的に接続が切れるようになっています。

メモ
- **切断までの無通信時間の設定を変更するときは、別冊『ネットワーク活用ガイド』の「第 2 章　もっと使える 便利な機能」の「電話回線の自動切断時間を変更する」を参照してください。**
- AirStation **は無通信時間が** 150 **秒（出荷時設定）以内でも、通信時間が連続８時間（出荷時設定）を超えると強制的に回線を切断します。**

■ 手動で切断する

手動でインターネットへの接続を切断する場合は、エアステーションマネージャから WEB 設定画面を開き、［回線切断］をクリックします。

メモ
- AirStation **の** WEB **設定画面を** WEB **ブラウザの「お気に入り」や「ブックマーク」に登録しておくと、便利です。「お気に入り」や「ブックマーク」から** AirStation **の** WEB **設定画面を選択して表示した後、［回線切断］をクリックします。**

⚠注意
- **メールソフトで新着メールを一定時間ごとに確認する設定になっているときは、設定された時間ごとに回線が接続されます。そのため、予想以上の通信料金が発生することがありますので、ご注意ください。詳しくは、メールソフトのマニュアルをご覧ください。**
- **定期的にインターネット接続するプログラムが設定されている場合（ポイントキャストおよびアクティブデスクトップなど）、一定時間ごとに回線が接続されます。そのため、予想以上の通信料金が発生することがありますので、ご注意ください。**

■ 課金（料金）制限で切断される

課金制限機能とは

一定期間内で通信料金の上限を設定し、通信料金が上限を超えると、通信を自動的に切断する機能です。

本製品をご使用になる上で、システムに合わない設定をおこなうと、予想以上の通信料金が発生する可能性があります。このような過剰な課金を防ぐために、必ず、課金制限機能を有効にしてください。

出荷時の設定状態

本製品の出荷時は、以下のように設定されています。それぞれの値は調整可能ですが、出荷時設定で過剰な課金が発生しにくくなるように設定されています。十分設定内容をご理解の上、調整してください。（調整方法は、別冊『ネットワーク活用ガイド』の「課金制限設定を変更する」を参照してください）

金額換算：10 円で通信できる時間を設定します。通信中の料金計算に用いられます。
出荷時設定　10 円／ 60 秒（お使いの TA で MP 設定をしている場合は、2 倍で計算されます）

※　市内への通信が中心になる場合は、「金額換算」を「10 円／ 180 秒」にすることをお勧めします。
１日／１ヶ月の最大課金：１日／１ヶ月の料金制限を設定します。この設定値を超えると通信が切断されます。
出荷時設定　1500 円／日　30000 円／月

⚠注意 **使用頻度が高い場合は、「最大課金」を頻繁に超え、通信が強制的に切断されます。そのときは、「最大課金」の値を大きくすることで強制的切断を回避できます。ただし、値を大きくした場合、過剰な課金がされていても発見しにくくなりますので、ご注意ください。**

課金制限機能の働き

本製品は「通信時間×金額換算」により、通信料金を計算します（NTT から通知される通信料金は反映されません）。計算された通信料金が「最大課金」で設定された値（出荷時設定 1500 円／日、30000 円／月）を超えると、新規のダイヤルがおこなえなくなります。また、通信中に通信料金が「最大課金」の設定値を超えた場合は、強制的に通信が切断されます。

「１日最大課金」は１日ごと、「１ヶ月最大課金」は１ヶ月ごとクリアされ、0 に戻ります。

4.4 有線 LAN パソコンでインターネットを利用します

AirStationへの接続が完了した有線LAN上のパソコンから、インターネットに接続します。

Step 1 有線LANを使うパソコンにLANボード／カードのドライバをインストールする

お使いのLANボード／カードのマニュアルを参照して、有線LANを使うパソコンにドライバをインストールしてください。

Step 2 有線LANを使うパソコンにインターネット接続のための設定をする（TCP/IPの設定）

有線 LAN を使うパソコンに対し、インターネットに接続するための設定をします。「Step 6 無線LANを使うパソコンにインターネット接続のための設定をする（TCP/IPの設定）」（P139）を参照して、設定してください。

なお、設定するときには、用語を以下のように読み替えてご理解ください。

無線LANパソコン → 有線LANパソコン

無線LANカード → LANボード／カード

Step 3 有線LANパソコンからインターネットに接続する

有線LANパソコンからインターネットに接続します。「Step 9 AirStationに接続したパソコンからインターネットに接続する」（P153）を参照して、インターネットに接続してください。

Step 4 インターネットへの接続を切断する

有線LANパソコンでインターネットに接続した後、切断する場合は、「Step 10 インターネットへの接続を切断する」（P155）を参照してください。